

## 償却資産申告書・償却資産異動連絡表の書き方

### 『償却資産申告書』（第26号様式）

平成29年度以前に申告された方（異動がない方含む）、資産を取得して今回初めて申告される方ともに、必ず提出してください。

（申告書様式中1～18の項目について）

- 1 「所有者住所」には、住所のほか電話番号も記入してください。
- 2 「所有者氏名」（法人にあつては代表者氏名）を記入のうえ必ず捺印ください。
- 3 個人の方は12桁の個人番号を、法人にあつては13桁の法人番号を右詰めで記入してください。償却資産を共有されている方は、記入不要です。
- 4～17においては必要事項を記入してください。
- 18 前年度と変更がない場合には、**異動なし**の記入をお願いいたします。

### 『償却資産異動連絡表』

平成29年度以前に申告された方は、異動があつた場合のみ提出してください。

資産を取得して今回初めて申告される方は、平成30年1月1日現在の全資産を記入し提出してください。

○「氏名コード」・・・記入の必要はありません。

○「異動区分」・・・次の数字で記入してください。

削除＝1 申告してある資産が平成29年中（1月2日から翌年1月1日まで）に減少した場合。

新規＝2 平成29年1月2日から平成30年1月1日までに取得した資産がある場合。

訂正＝3 申告してある資産に変更及び錯誤があつた場合。

○「異動区分」を次のようにした場合

1（削除した場合）

「資産の種類」・「資産コード」のみ記入。

2（新規とした場合）

「資産コード」は記入の必要はありません。「資産の種類」を記入。

「資産の名称等」・「数量」・「取得年月」・「取得価額」・「耐用年数」のすべて記入。

3（訂正とした場合）

「資産の種類」・「資産コード」を記入し、訂正された箇所のみ記入。

○「取得年月」・・・1月1日に取得した場合は、その前年の12月を取得年月としてください。

○課税標準の特例が適用される資産については、「課税標準の特例」欄に特例の旨を記入してください。

（記入例）

### 償 却 資 産 異 動 連 絡 表

異動区分

氏名コード(7桁)

所有者住所	
所有者氏名	

1. 削除
2. 新規
3. 訂正

資産の種類	資産コード	異動区分	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	課税標準の特例	摘要
2	0001	1							
2		2	太陽光発電システム	1	H29.4	4,000,000	17	特例	
6	0003	3	応接セット一式			1,260,000			